

最先端の技術を使って
暮らしに新しい便利さや楽しさを
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。
それが、人と技術の理想をめざす
日立の「インターフェイス」の願いです。

Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。

アジア競技大会派遣選手団

団 長 市 原 則 之

強化担当常務理事

[男子]

監 督	津 川 昭	1951. 8. 3	湧 永 製 薬
コ ー チ	蒲 生 晴 明	1954. 4. 5	大 同 特 殊 鋼
コ ー チ	喜 井 美 雄	1951. 8. 8	本 田 技 研 鈴 鹿
ドクター	敦 賀 一 郎		浜 脇 病 院

選 手	氏 名	生年月日	身長	体重	所 属
G・K	1 矢 内 浩	1960. 8. 1	189cm	85kg	大崎電気工業
	12 橋 本 行 弘	1965. 9. 17	185	80	本田技研鈴鹿
	16 秋 吉 哲 男	1965. 7. 27	190	85	大同特殊鋼
F・P	2 田 口 隆	1961. 7. 23	182	78	本田技研鈴鹿
	3 玉 村 健 次	1961. 1. 16	182	77	湧 永 製 薬
	4 宮 下 和 広	1961. 8. 6	187	85	大崎電気工業
	5 武 田 英 雄	1963. 7. 14	177	73	大崎電気工業
	6 酒 卷 清 治	1962. 5. 7	180	78	湧 永 製 薬
	7 河 原 隆 雅	1964. 1. 3	180	76	湧 永 製 薬
	8 甲 斐 章 義	1966. 4. 22	183	71	大崎電気工業
	9 山 村 敏 之	1964. 7. 9	177	70	大崎電気工業
	10 首 藤 信 一	1965. 1. 10	186	85	大崎電気工業
	11 斉 藤 慎 太 郎	1965. 8. 3	188	78	山 形 教 員
	13 魚 住 和 彦	1966. 10. 24	188	75	大崎電気工業
	14 武 田 大 伸	1964. 3. 24	182	76	日 新 製 鋼
	15 中 山 剛	1969. 7. 4	191	75	福 岡 大 学

[女子]

監 督	緒 方 嗣 雄	1946. 11. 19	大 和 銀 行
コ ー チ	水 上 一	1947. 1. 1	筑 波 大 学

選 手	氏 名	生年月日	身長	体重	所 属
G・K	増 見 美 果	1966. 12. 21	170cm	63kg	大 和 銀 行
	村 山 み どり	1969. 1. 9	176	67	東京女子体育大
	小松崎 浩 子	1969. 9. 22	180	63	日本体育大学
F・P	梅 原 直 美	1965. 7. 4	182	72	大崎電気工業
	丸 田 紀 子	1965. 9. 12	171	62	大 和 銀 行
	松 沢 祐 子	1966. 5. 5	160	56	シャトレーゼ
	上 村 多 恵 子	1966. 11. 7	158	58	大 和 銀 行
	巖 川 亜 由 美	1966. 12. 25	173	67	大 和 銀 行
	武 津 優 子	1967. 9. 19	171	59	オムロン
	小 池 美 由 紀	1967. 11. 7	164	58	大 和 銀 行
	市 来 未 央	1968. 1. 3	159	67	日 立 栃 木
	松 田 史 佳	1968. 5. 14	161	56	北 国 銀 行
	小 松 晃 子	1969. 9. 11	177	67	シャトレーゼ
	比 嘉 晴 美	1969. 9. 12	162	51	オムロン
	竹 吉 由 江	1970. 3. 6	164	57	日本体育大学
西 村 聖 子	1970. 10. 14	174	67	武庫川女子大	

レフエリーの観察と判定における 欠点についてV-DEFO解説

ヴェルナー・フイック (西ドイツ) HF / PRC 理事
ウイリー・ハツクル (西ドイツ) 西ドイツ審判部長

正直に申し上げて、私としては、このシンポジウムへの表題のテーマに関しては、まだ十分な確定結論を出す段階ではないと思つてい

る。とりあえず、私の意図するところは、1月に行なわれたバルティクカップ大会と2月の男子B世界選手権大会で、それぞれ問題となつた出来事を含めた上で、レフエリー活動分析の中から、「ゴールエリア前でのプレー」という題目で述べることである。

観察と判定の場にあるレフエリーの赤裸々な実態を明かにすることは、まだ理論学習の定型を成していないので、そのかわりに、視覚に訴える身近な実例を示すこととした。

我々としては、この観察法が最も啓発されるところが多いと考える。このビデオフィルムの発表進行について、一定のテーマの場面を各2回づつ通常スピードで映写して、その実際状況の把握につい

ての時間を設けた。その後、その経過について、音声での説明とともにスローモーション映写により検分し、そしてまた、普通スピードの状況を再検分するということ

にした。カメラ操作都合の許す範囲で、希望に合った状況をキヤッチするため、早め早めに個々の場面を録画した。

解説やヒントの示唆については、次の点を留意した。

- ① どちらのチームがボール保持で、攻撃側なのか→ユニフォームの色
- ② どのプレーヤーが行動しているのか→番号・ポジション別
- ③ そのテーマに相当する事実状況

④ どうしてそうだったか。何を特に注意して見るべきか

- ⑤ その後に続く、他のテーマとも関わり合いのある反則行動
- ⑥ レフエリーの判定

正しい判定は、どのようにあるべきか

この発表形式によっても、これらの実例場面が、常に最良の角度から写されたものでないことは了承願いたい。

このシリーズは、引用例としてあげられた国や、チームや、プレーヤー、そして問題ありと感ずるレフエリー諸氏も見ることができ

る。これらの選別されて教育資料となつたことで、個人的にも、チーム的にも、今後、色目で見よう

なことは全くないし、このような仮定の思考は、我々の意図と全く相反するものである。我々は、この典型的な実例集を再現すること

で、レフエリーの改善向上の教育参考資料として役立つことを望んでいる。現時点では残念ながらこの方法以外に本物実例同様の再現は不可能である。そしてこの映写にあたっては、ドイツ語国民以外の諸氏は通訳を介して眼で追うようにしてもらおうよう理解を願いたい。限られた短い準備期間で仕事

を急いだため印刷物として翻訳をつけるまでにはいたらなかったことをおわびするが、後日資料的に補充充実し、問題点の追加という形で各場面の解説翻訳が作られることになる。

この後、我々が収録選別した問題点のダイジェスト版を発表する。

- (1) シュートする時のゴールエリア内侵入について (踏み越すと)

この第一テーマは重要である。ゴールエリアラインを踏み越しての得点は、ルールに認められていない。レフエリーのゴールエリア観察不注意は、その後彼自身に大きな負担となつてのしかかつてくることとなる。この種のミスジャッジは試合の大勢に大きく影響

する。そして今も尚、頻々として発生しており、我々は、この件を真に好ましくない無責任・軽率な妥協の産物であると反省している。

なるほど、これまで我々はこのような判定態度で、明らかに、ある時は受難者となり、ある時は受益者となつていたのである。いずれ、このような事態は均一化されるようになると人はいかも知れない。

だからといって、我々は何もしないでも良いとは思っていない。ここでは多くの試合から、相対関係の統計的誤差率を抜き出すことは

しない。ある特定の試合だけが分析・評価され、批評・考察の対象となつている。

どんな時点でも、またはどんな試合状況下でも、私が思うには、プレーヤーやチームは誠に不運・災難である(レフエリーのミスジャッジにより) ことが決定的要素となつて現れている。2、3点の少差の試合では、この影響が特に大きいことを教えている。

誰でもこのような場合、チームのモラル感覚はどこかへやつてしまふであろうし、またこれが決定的重要性を持つ試合であれば、モラル感などがまつておれなくなつてしまふことに気づくであろう。

この見地から我々は、問題あるレフエリーの教育訓練に関して委託された任務の重要性を意識せざるを得ない。

私の観察経験では、ゴールエリア周辺での出来事についてのレフエリーの観察はまつたところどころに優先性を与えるかの判定基準がすべて間違つて理解されていることを示している。彼らは、特にゴールレフエリーをつとめる

レフエリーはややもするとゴールインを見逃す、確認し損なうかも知れぬという不安危俱の念を抱いているものと我々は見ている。彼らはシューターを瞬時の速さで注

目し、そしてなお、急速にゴールを見るため視線を切り替えなければならぬ。

(注) このことについての理論的学習は、アルベル

ト・バルクハウゼン著の「審判教育2」かまたは「ハンドボールトレーニング誌」のNo10—88に掲載されている。

正な得点である。
第4例・攻撃側は白(中央左寄り)。再びライungkロスで不正に得点した。防御側はそれ以前にボール保持者にマークするためゴールエリア内に入っている。正しい判定は7mスローである。

第5例・攻撃側は青(右側方寄り)。シュートが2度続けざまに行なわれた。

第1回目、問題ない着地である。レフエリーは青の反則を取ったが、ここでは、防御側がボール保持者にマークするためゴールエリア内に入っていたので7mスローとすべきである。

(2) シュートの際のゴールエリア内侵入(踏み越し)についてのVIDEO解説

第1例・好適の例である。攻撃は白で画面の左側方にある。ゴールエリアを踏まずにジャンプシュートのため跳び上がり、着地する前にタイミング良くボールをシュートした。

第2例・攻撃側は白でコートの上半分側の後方の位置からシュートした。跳ね返ってきたボールがゴールエリア上に転がっている。白はそれを取ってシュートしたがライungkロス状態であり、これは得点とは認められなかった。

第3例・攻撃側は白で中央左寄りの5がシュートしたがライungkロスである。レフエリーはライungkロスを認めなかった。これも不正な得点である。

第8例・攻撃側は白。右外側からのシュートで、ボールが手から離れる前に着地してしまっている。これはレフエリーが見つけたので得点にならなかった。

以上の諸例を見た後の結論としては、遺憾ながら至って良くない。カメラの展望は、我々がテーマとするゴールエリア観察の重要性を認めている。

今回のゴールエリア観察でも、すでに5つのミスジャッジがあり、4点が認められているし、ただし試合で10回ものゴールエリア内の不正シュートが約8回のゴールインとなってしまうのである。

今まで述べたように、これを除くことこそ緊急の課題としなければならぬ。この件に関して、レフエリーの責任は重大なものがあつて、これを重ねて指摘するとともに、瞬間的に起こる状況変化観察の改善を図るようしなければならぬ。

今までの述べたように、これを除くことこそ緊急の課題としなければならぬ。この件に関して、レフエリーの責任は重大なものがあつて、これを重ねて指摘するとともに、瞬間的に起こる状況変化観察の改善を図るようしなければならぬ。

(1) シュートの時ボールを手から離す前にゴールエリア上に着地すること

前項の終りに示したシーンは、上記のテーマと共通性がある。これは、ジャンプシュートをするために、ゴールエリア上を跳び上がる時のことである。一方では、レフエリーの観察範

囲内容の多様さは増大するとともに、他方では、瞬間的な、一秒以内ともいえる眼の動きで判定を下さなければならぬ。この状況に最も当てるはまるゴールレフエリーにとっては、解決処理不能に近い負担となっている。彼の立つ位置から、上に述べたような十分の一秒での正確な観察は、ゴールエリアインとゴールポストの距離関係から見ても不可能である。

手→ボール、そして足→フロアに着いてからかそうでないかの動き、経過を同時に視野の中にとらえなければならぬからである。この状況のもとで、正しい判定を下す好位置など、とても無理であり、不可能に近いといえる。

こんな時レフエリーは、できれば後方に少し下がって、もつと周囲を広く視野の中に入れるようにしても良い。しかしながら、このためにはセンターレフエリーの協力が必要である。彼らは、その位置からボールが着地前に離れたかどうかを見るのに十分といえる距離点にいるから、より良い観察が可能にはずである。

ただし、そのとき眼前を通り過ぎるプレーヤーがあれば、その限りではなく、これもセンターレフエリーが、リズムカルで、絶え間なく位置を変える動きで全体を包括的に見渡すことができれば、この解決は容易となる。ス

ローモーション映写ですら、ゴールエリア上着地について、正しい判定を下すのに証明とはならない場合が多々ある。以上の事柄が、隔たつた位置からの観察を余儀なくされるため、異なった判定が生じる原因となっている。

テレビとかビデオの通常速度の映写または観覧席からの眼では、往々にしてゴールエリア着地後のシュートが反動的挑発作用(連鎖反応)となつて、リズムカルであるべき試合の流れをこわしてしまふことが多い。だから、レフエリーがこの試合の美しさとその流れの円滑さを見極める眼力の鋭敏さを養うのは当然のことである。重ねて強調するが、レフエリーはゴールエリア上にジャンプシュートがある時は、全体を見るようにすべきである。

○ジャンプシュートに踏み切る前、防御側がゴールエリアを横切るか、その前に立ち止まるか、ボールを目標にしてか、または相手の身体をブロックしようとしてか

攻撃側は、オーバステップ、オーバertime、チャージングをしていないか
○ジャンプシュートに踏み切る時ライungkロスしたかどうかに注目する

防御側も続いてジャンプすれば、その時の目標・対象はボールか相手か、ボールを空間でス

トップしたり、手で払い落とすプレーはOK。他のすべての身体接触は、例外なく反則であり7mスローとなる。そして段階的罰則適用反則には、それを忘れるに追加すること。

○ボールが手から離れたか、ゴールエリア着地が早やかかったか
すべての観察の中で、これが最も難しいことはすでに述べた通りである

○得点判定について
これの見損ないは、レフェリーの最大のエラーであり、両レフェリーともボールの行方に眼を向けるのが早過ぎる

○その他の観察では
シュート動作の開始発端が、合法か否かを見るべきであり、さもなければ、逆に7mスローを抜き出すことになりかねない。

シュートする方向角度が広ければ(中央に寄ってくるほど)、おおむねは得点チャンスであるこの連続動作状態で、ジャンプシュートのため、ゴールエリア上に飛び込む時、時間的速さで、すべての始末を正しく見て判定を下すことが、レフェリーにとって、

いかに困難かを認識すべきである。1982年の男子A世界選手権大会での5つのシーンで、当時でも問題視された困難点に関することを、このテーマの序論として、我々一同で、もう一度検証しよう。

(2) シュートの時ボールを手から離す前にゴールエリア上に着地すること(解説)

第1例・これもエリア観察の適当例である。シューターは、着地する前にボールを離している。

第2例・攻撃側はオレンジ、エリアラインの中央左寄りに入っている。ボールを手ばなす前にエリア内に入ってしまった。正しい判定は、防

御側にフリースローである。

第3例・攻撃側は白。15が左外側にいる。15は明らかにボールを離す前にエリア内に入っている。

レフェリーは、ラインクロスと認めた。

第4例・攻撃側は白。中央右寄りにいる。白シューター10がエリアライン前から、左足でスキップしてエリア内に入って左足軸でシュートした。スローモーションでは、前に立っているレフェリーの右に左足が出ているように見える。

レフェリーは得点とした。正しい判定は、シューターの前に防御側プレーヤーがエリア内にいたから7mスローとなる。

第5例・赤の速攻の場合。右外側から攻撃側がパスを受けるため、エリア上にジャンプしてキックした。レフェリーは得点と判断したのは正しい。相手プレーヤーは異議申し立ての権利はない。

第6例・攻撃側は白。エリア前のプレーヤー18がエリアラインに

沿って走り、中央右寄りで踏み切ってパスした。パスのための踏み切りは問題ないが、ボールを手離す前にエリア上に着地している。このような時には、前に述べた反動挑発作用(連鎖反応)に注目すべきである。レフェリーは得点を認めたが不当である。

第7例・攻撃は白。速攻状態である。右外側の14がジャンプシュートしたが、これは着地後である。これは空間でねばろうとするシュートを見極めることである。これも連鎖反応を考えた上で速くからでも正確に見るべきである。レフェリーの判定は正しい。

第8例・攻撃は白。9がボール保持でオーバーステップした後、左外側からエリアラインを踏んでジャンプした8にパスしたが8は着地後シュートした。レフェリーはこの3つの反則を見逃した上得点を認めてしまった。

まとめと結論
我々は、今までハンドボールの観察と判定について、最も困難とされ、しかも、再三再四、矛盾異論を招いている場面を典型的な実例で見て来た。我々としても、観察判定対象の追求手段方法について、いろいろな疑念が生じていると考える。それらの疑問点を列挙し、検証することで、レフェリーが正確なチームワークにより解決打開策を抜き出すよう助力してや

ろうではないか。

(3) 無責任な防衛行動について
我々IHF/PRCは、以下にあげるテーマ群については、特に入念な注意をはたらかせることを望んでいる。はじめに、私は、プレーヤーが日進月歩的にプロフェッショナルな進歩を遂げていることを話した。このことの成り行で必然的かも知れないが、相手に対して遠慮会釈のない、あるいは傍若無人の戦術行動が見られるようになって来ている。伝統的に美点であるフェアプレーはさらに退行の彼方にある。

数年前から、にくたらしいといえる防衛行動が見られるようになって来たのは、そう驚くことではなくなっている。相手の安全に仮借のないやり方としては、攻撃側がジャンプシュートをする時の自己本位な行動様式にも現れている。この後に続くのは、四肢を掴む、引っ張るなどの行為である。

この結果、シューターはパスを受けるためのバランスコントロールを失ってしまう。この後は、頭部負傷危険率の高い転倒となるであろう。

レフェリーや観衆は、このような試合状況の中から、まるで予想しない事態が起こるとは全然考えてはいない。それは、彼らがボールとプレーヤーの上体部分しか見ていないからである。シューター

日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球 (J・H・A)



タチカラミムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。



タチカラ株式会社

東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

の異例非常な転倒が生じた時、はじめ彼らに事の重大性を考えさせることになるのである。5試合の中から、この種の例を6件選んである。

結 論

我々IHF/PRCは、このよ
うなフェアプレーの精神に反する
無責任なプレー・行為を抑制・排
除する努力を払うが、全員の支持
を願ってやまない。この抑制が普
通のハンドボール行動意識である
と、全レフェリーが信念確信を持
つようになれば、粗暴で非スポー
ツ的行為への対処と判定は容易な
ものであり、もちろん一発で失格
処分することが可能である。

第2例、第3例に示すようなこ
と、または意図的であろうとなか
ろうと、またそれらが短時間・瞬
間的に起こったことでも、エネル
ギッシュに非妥協の態度で初回の
反則の処理に立ち向かい、2分退
場を科すことが当然である。乱暴
行為のごときを、我々ハンドボー
ルマンは決して許さないようにし
ようではないか！

(3) 無責任な防衛行為について解 説

第1例・スローオフは赤。後方
から攻め込むプレーヤーはパスを
する時、白7にチャージングをし
ている。これは罰せられていない。
左外側でボールを得てフリーシユ

ートした。防側14はマークしよ
うとしたが、遅れたのでちょうど
飛び込もうとする相手の足を掴ん
だ。シューターはバランスを失っ
て横ざまに転倒した。レフェリー
の処置が見られず、正しい判定は
7mスローと、レッドカードによ
る失格である。

第2例・攻撃は青。青10は左外
側からフリースローをする。防側
14はマークするのが遅れたので、
エリア内に飛び込み、シューター
の左足を引っぱるか、掴むかした。
青10はそれでも得点に成功した。
粗暴で非スポーツ的行為はプレー
の終りで見届ける必要はない。意
図的であることがはっきりしてい
るから、直ちに2分退場を科すべ
きである。

第3例・白チームGKはシユ
ートを止めた。赤の5は赤10に速攻
スタートさせた。防側10が追
いつけず、赤10がジャンプシユ
ートする時の右大腿をポンと押した。
短くて速い動作である。レフェリ
ーは7mスローとアンフェアプレ
ーヤーに2分退場を科した。大変
良い判定である。

第4例・攻撃はオレンジ。エリ
ア前の中央右プレーヤー。防側
の5はオレンジ3の大腿部を押し
たので3はバランスを崩した。レ
フェリーはシューターのゴールイン
を認め(アドヴァンテージOK)、
その前にあったのかも知れない反
則で白7に警告した。白5はアン

フェアなのに罰せられていない。
これはレフェリーの観察が不適切
だったといえる。

第5例・攻撃は白。白2が右か
ら走り込む。防側、赤4が中央に
いるが何を考えたのか、防側意図
目的とは無関係に右手で白2の右
足を持ち上げ、頭からひっくりか
えず危険なことをした。プレーヤ
ーは転倒するの腕でカバーする
ことにも馴れていないのに、頭か
ら落ちて怪我することにも馴れて
いるはずはない。レフェリーは警
告しただけ。正しくは失格処分！

第6例・攻撃は赤。中央左寄り
後方から走って来たプレーヤーが
ジャンプシユートをしようとして
いる。白14が相手の右足を掴んで
引っぱった。レフェリーはこれに
気づかず試合はそのまま続く。反
則されたプレーヤーはバランスを
崩してシユートできなかつたため、
レフェリーに公正対等を訴えたの
で自陣に戻るが遅れ、逆襲によ
る失点に甘んじなければならな
かつた。正しい判定は白14を失格と
して、7mスローを赤に与える。
シューターの時バランスを崩したこ
とと、エリア内防衛をしたことに
よる。

第7例・終りに、もう一つ教育
資料相当の場面を示す。白のシユ
ーターがどこで反則されたとして
も、バランスが崩されたと見るべ
きである。

(4) 段階的罰則適用について

我々全員は、レフェリーの養成
と高等教育実施に向かつて、この
テーマに取り組んでいる。1996
0年代の終り頃には、すでに粗暴
でフェアプレー精神の理念を抑
圧・無視する行状について取り決
めるべきであった。ジワジワとで
あるが、スポーツのあり方に危険
が迫ってくる悪い兆候は、今なら
誰でも知っている挑発から生じた
不規則の積み重ねとなつている。

我々のハンドボールのアンフェア
な展開状態に歯止めをかけるため、
IHFが1981年版ルール改訂
に着手したのは、あれから10年も
なつてからのことである。この改
訂の特別意義は、主として包括的
に個人を対象とする罰則適用の再
検討であつた。この結果、相手に
対する動作での違反は段階加重的
に罰することが明らかになつたの
である。

そしてなんと、その準備には若
干の困難はあつたものの、プレー
ヤーやチームの急速な学習修得能
力にはおどろかされた次第である。
我々は、好ましくない事態の推移
にストップをかける第一段がうま
く行つたことに満足している。

このような経緯にもかかわらず、
その次の部分的ルール改正周年
(4年後という意味)には、また
もレフェリーの罰則処理にいか
がわしさが見られるようになって
いる。

そこで、1985年版ルールに
は、明確な定義とその境界判定に
役立つように内容明細にわたつて
の説明注釈が併記されることにな
つた。その後、ようやく一般的に
はレフェリー活動は、我々の観念
と適合するようになった。今回再
び巡り来た、ルール改正周年の
終りに当たつて、我々は多くの試
合観察で罰則適用がいい加減なも
のになりつつあることを確認して
いる。

なぜ、反省・回顧を過去の彼方
にやつてしまふのか？(役立てよ
うとしないのか)、私は声を大に
して、「一貫性あるルール解釈の
重要性をレフェリーに確実に理解
させ、実行させる努力を怠るなか
れ」と全審判長に警告を発したい
心境である。

レフェリー諸氏は、要するに
我々PRCから示された吹笛基準
を維持し強化すべきである。そし
て、次の来るべき吹笛チャンスの
場では、レフェリーが必要・適切
な段階的罰則相当の違反には、終
始一貫性ある、断乎たる処置を取
る勇気を示すことを、期待してや
まない。

次に罰則適用が、全く実行され
ていない事例を示すことにする。
実例場面の発表により、それぞれ
の実状に応じた判定を下して、皆
さんと共通理解の線に達すること
とは我々PRCの努力目標である。
同様の努力は、IHF/PRCと

その時々レフリーが関与する講習会や世界選手権大会にも常に振り向けられている。

我々は、友達の判定でチームサイドが持つであろうさまざまな限合意を達成することが、最重要条件であると考えている。この目標に向けて、次の発表を役立たせることにしよう。

第1例…はじめに再びレフリーにとって好適の例を示す。

攻撃は白。4が中央左寄りにいるが、相手の7から両腕で掴まえられた。レフリーは7に2分退場を科した。これはOKである。これは青チームの無茶である。

第2例…攻撃は白で右の方へフリースローをパスした。中央後方にいるプレーヤーはシュートしようとしたが突きとばされた。レフリーはただのフリースローだけ与えた。段階適にということ忘れてる。

第3例…攻撃は白。中央から左外側へボールが送られ2にわたった。青15の後方に白15がブロックをかけた。この時白15を左腕で押し倒し、そしてまた白2にも反則をしようとする。レフリーは何も判定しない。段階的適用を忘れてる。

第4例…攻撃は青。5が左から白14と3の間を右へクロスしようとしている。白14は両腕で相手を突きとばした。レフリーはフリー

スローで済ませた。正しくは白14に段階的適用をすること。

第5例…攻撃は青。中央後方のプレーヤーがボールを持っていて、白チームは減数状態の時白4からマークされて、空間でパスプレー中に突きとばされた。レフリーはフリースローの判定だけ。段階罰が忘れられている。

*減数状態とは、退場者のある状態または相手よりも人数が少なくなっている状態をいう。

第6例…攻撃は青。ボールはフリースローで右にいる青10にわたって左利きシュートの胸あたりを突いた上で、青10はバランスを崩してしまった。笛も吹かれず、試合は続けられている。何らかのスロー判定の笛と段階罰が忘れられている。

第7例…攻撃は白。右外側にいるプレーヤーが内側に走り込んで青5の後に来た。青5は相手が白2にパスする時、飛びかかって突きとばした。白2もジャンプ中に青5から突かれた。白8へのパスがエリアライン前に来たので白8は得点成功した。青5に段階罰を加えること。

第8例…攻撃は青。右外側の7がボールを持って走り込むがゴールエリア内を走って来た白14に突きとばされながら青6へパスして得点となった。アドヴァンテージOK。段階罰が欠けている。

第9例…攻撃は白。4が右外側の7にパスをした。7はそのまま青13の方へ横に動く。そこで青13は短いモーションながら、両手で押して素早く手を引つめた。左足はエリア内にあるが、その反則後素早くエリア外に引つめた。そこでレフリーは、はじめたこのプレーヤーの動作に気づいたが、

彼は反則を悔いたという良心的動作と見たのかも知れない。点が入ったか否かは正しく見るべきであり、シューターはエリア内に入っていないかった。青13に対する段階罰が欠けている。

第10例…攻撃は赤。中央右寄りにいる。白3はユニフォームを掴んで、その上腕で掴まえている。左の腕は、上に伸ばして何もしていないと見せている。レフリーはフリースローとしたが、段階罰とすべきである。

第11例…攻撃はオレンジ。後方右寄りにいるプレーヤーが斜めに走り込んで来る。防衛青3は両腕で相手を掴まえた。レフリーはフリースローしか与えていないが、これは無条件に段階罰とすべきである。

第12例…攻撃は白。赤は減数状態にあり、劣勢の中で何とかシュートを止めようとする。赤は右側の味方プレーヤーを助けるためにか、ボールに向かってセービングした。そしてエリア前にいる相手にのしかかってしまった。そし

て走ってくる白10を押した。連続的に起こった反則は2人の攻撃プレーヤーを阻止した上、後から攻め込んでくる者にも影響した。2分退場は当然である。

第13例…攻撃は白。15がボールを持って左から右へ動いている。エリア前で青6は白11を押した。段階適用なしである。その後青15はボール保持の白8がジャンプしているところを押した。レフリーはフリースローだけしかとらない。正しくは、青チームの2度にわたる段階罰相当の違反を罰するべきである。

第14例…攻撃はオレンジ。青18が相手の右に立っている。斜めのパスが後方にあるプレーヤーに渡った後、青18はエリア内を通って反対側へ回り込み両腕で相手を掴まえた。笛は吹かれたが、レフリーは腕使用については過失なしとしてフリースローとした。明らかに段階適用すべきである。

第15例…攻撃は青。青3が白10の後ろから押した。レフリーは気づかない。白10は押されたので、ボール保持者の青9に突き当たり、右手が相手の顔面に当たった。青9はそれでもエリア前に突っ込むうとする。白11と15はこれを阻もうとしたが白11は肘を青9の顔面に当ててしまった。フリースローだけとは軽過ぎる。段階適用が続くべきである。

白10のはじめの違反は、顔に当たったことは攻撃的意図的ではなかったが、2回目の白11の違反は失格に近いものである。

第16例…攻撃は青。5がボールを持って走り込み白18から押された。ボールは思う相手にパスできず5は後方右に止まった状態である。これは、すでにアドヴァンテージ状態ではなく、白18の反則を罰するべきである。

右から後方右へ走り込んで白5からボールなしで2回押された。青3は防衛シフト内に入っている。白18は青3から数m離れている。反対側から白5がフォロースタットした。

両者の力が一緒になって青3は転倒した。レフリー判定はただのフリースローだけ。白18に対しては段階罰を与えなければならぬ。

第17例…攻撃は青。中央左の17がつかまえられ押し倒された。レフリーはフリースローだけしか吹いていない。正しくは段階罰である。笛が吹かれると同時に白14は青4の頭を叩いた。これはもはや段階罰適用の対象でなく、即座に退場が失格である。

第18例…白2の逆速攻で、防衛赤プレーヤーがジャンプしようとしているシューターを突き倒した。退場でも、失格でも良い。

フリースローの時、ボールは左から戻されて後方右寄りプレーヤーにある。彼はジャンプしたのち空間で押しとばされた。ここにも段階罰適用が欠けている。少し遅

れて赤2に対して、走り込んで来た白10をホールディングしたことで段階適用をした。

第19例・攻撃は青。中央からジャンプシュートで得点。その時ボールには間に合わないのに白14は青14を突きとばした。同時に白15はボールを持たない青13を突いた得点は認められたが、段階適用が欠けている。

第20例・攻撃は青。フリースローの後、白15が青3に近づいて左手で相手の胸を叩いたが、その後引張られて青3からホールディング(腕の差し込み)された。はじめの反則は防御側のもの。青チームに2分退場とフリースロー。白15については当然ではあるが、青3は腕の差し込みにより警告されて良い。

第21例・攻撃は白。中央左側にいるボール保持者は両腕で後からつかまれた。レフェリーは正しく段階適用すべきであるのにフリースローだけである。この結果、無意味なフリースロー判定により、試合の流れが中断しアドヴァンテージも無視された。その後白3からエリア前にパスが送られ、キャッチした攻撃側プレイヤーはつかまえられ、引張られた。白3もホールディングされた。レフェリーは得点チャンス妨害として7mスローを取っただけである。必ず段階適用に進むべきである。

第22例・攻撃は白。フリースロー

が左へパスされた。青5が白10を掴んだ。白10はパスした後、青15から突かれた。レフェリーはフリースローを取っただけ、段階適用しておらず。

第23例・攻撃はオレンジ。中央右プレイヤーはエリア前にいる。青18が反則をした。オレンジ3が報復的に叩き返した。レフェリーは青18を罰した。当然両プレイヤーも退場となるべきケースである。

第24例・攻撃は白。右外側にいるプレイヤーはオーバーステップしたが、気づかれない。白4は赤5と10の間に入ろうとして、そこで赤5が突きとばしたので、白4は赤5の上に倒れたため警告された。セクターレフェリーは反則したプレイヤーを警告したつもりであろが白4への警告は2回目であることを失念している。これもはずれ判定である。

第25例・攻撃は赤。ボールは右外側の6にパスされたが、空間で白5に突きとばされバランスを失った。レフェリーの判定は正しい。白5に2分退場を命じ、得点チャンス妨害のため7mスローも加える。

結びの言葉

我々は皆さんに対し、残念ではあるが、必ずしも多いとはいえない問題テーマ群を示したが、これを基として今後の研修成果向上への激励をしたい。レフェリーの実

例に即した視聴覚学習は、今や養成コース、高等コースを問わず大きな役割を果たすに至っている。常に、早いスピードで先行するトレーナー・プレイヤーサイドとレフェリーサイドを比較すると、今や両者の間には、理解やものわりの程度や、基準に相違が生じてしまっている。

試合状況下で、相互に抵抗関係にある両チームは、ほとんどの場合レフェリーという存在を試合に欠くべからざる良い友達とは見ていない。ルールに合った判定については、何もレフェリーに尋ねることはない。

人は、常に判定を自チームに有利にするためレフェリーをあやつろうとしている。だから、今も尚、試合前・中・後を通じてあらゆる手段と控術が応用されている。彼らの想像力または発明力の豊かさは、レフェリーをして誤判定を導き出すという点で絶大なものがある。これらは、靴紐を結び直す、フロアーをモップで拭く、負傷を装うとか、取るに足らぬ、きつかけから「タイムアウト」を引き出すことではじめられる。そしてなお、フリースローを誘発すること、意図的なスローのポジションの訂正誘発、そして芝居じみた控術的プレーをするようになる。知って

いるくせに、知らぬふりをする、カマトトぶり、その身ぶり手ぶりは、すでに演技パターンとなっ

ている。ここでのレフェリーという存在は、戦術・策略的に端を発して、心理的圧迫を目標むチーム側の敵ということになってしまっているのである。

このようなプレイヤー側の陰謀ともいえるたくらみを見抜いてそれに対抗するための必須条件は、個々のレフェリーの経験、自信、そして何にも負けることのない人格性に帰属することを確認ねがいたい。

我々はレフェリー諸氏が、今後このテーマで適切に、広範囲に準備・研修するよう努力を約束する。以上発表した視覚的実例は必ずや寄与貢献するものとなる。

御静聴を謝す。

ヴェルナー・フィック(論説)
ウイリー・ハックル(解説)



打ちこんでしまう性格です。

好きなことを、好きなだけやっつけているうちに、ここまできた。
面白いなあ、くやしいなあ、うれいいなと書っているうちに、ここにいた。
ボールいっこあれば、夢中になれるボクたちは、きっと天下無類の幸せ者なんだ、と思います。

Tango
HSH3AD タンゴ3号 ¥6,000
●天然皮革 ●最高級品・手縫い
日本リーグ男子試合球

株式会社 **molten**
東京本社 東京都墨田区横川5丁目5-7 〒130 0303-625-7581代
大阪・名古屋・福岡・広島・仙台・札幌・リノUSA・デュッセルドルフWG.

関東

青森中央 18 (11/7/8/5) 13 青森西

▽決勝
青森中央 23 15 35 27 28 36
12 14 5 7 6 3

今別 六ヶ所
青森東 青森商

千葉県実業団春季リーグ戦

(2月14、15、22日/三井石油体育館)

▽1部リーグ
コスモ石油 乗 権 東京ガス
出光千葉 31 17 三井石化
海自下総 乗 権 東京ガス
三井石化 36 14 日産石化
出光千葉 乗 権 東京ガス
コスモ石油 30 18 日産石化
海自下総 21 18 三井石化
日産石化 乗 権 東京ガス
海自下総 23 18 出光千葉
三井石化 20 18 コスモ石油
三井石化 乗 権 東京ガス
コスモ石油 25 21 出光千葉
海自下総 30 11 日産石化
出光千葉 31 14 日産石化
海自下総 32 23 コスモ石油
海自下総 32 23 出光千葉
三井石化 ④ コスモ石油 ⑤ 日産石化

⑥ 東京ガス

▽2部リーグ
海自館山 22 14 東京電力
海自館山 乗 権 海自木補
東京電力 24 21 海自木補

(順位) ①海自館山 ②東京電力 ③海自木補

▽入れ替え戦
海自館山 乗 権 東京ガス

埼玉県高校関東大会2次予選

(4月28、5月13日/草加市スポーツ健康都市記念体育館ほか)

▽1回戦
浦和学院 15 13 浦和西
県坂戸 18 13 春日部東
小松原 18 9 熊谷
川口青陵 23 17 筑波大坂戸
浦和南 29 14 秩父
羽生第一 27 7 城西川越
春日部工 24 13 城北埼玉
大宮南 23 12 春日部
越谷南 25 23 西武台
春日部共栄 22 19 上尾東
埼玉栄 25 12 川口東
農大三 26 16 桶川
川口工 22 9 吹上
越谷西 24 23 大井
浦和実 35 11 泉坂戸

農大三 18 10 川口工

浦和実 40 4 越谷西
浦和学院 18 15 川口青陵
浦和学院 30 6 浦和南
浦和学院 12 12 川口北
浦和学院 23 6 浦和南
川口北 21 14 川口青陵
川口青陵 15 15 浦和南

▽準決勝リーグA組
浦和実 20 15 農大三
浦和実 25 7 埼玉栄
浦和実 23 11 大宮南
大宮南 18 14 埼玉栄
大宮南 14 14 農大三
埼玉栄 18 14 農大三

▽準決勝リーグB組
浦和実 25 15 農大三
浦和実 20 15 農大三
浦和実 23 7 埼玉栄
浦和実 25 11 大宮南
大宮南 18 14 埼玉栄
大宮南 14 14 農大三

浦和実 14 11 川口北
浦和実 16 13 浦和学院
浦和学院 15 9 大宮南
川口北 15 12 大宮南

※浦和実-大宮南、浦和学院-川口北は準決勝リーグを適用。

(順位) ①浦和実 ②浦和学院 ③川口北 ④大宮南

熊谷女 25 3 浦和商

春日部女 23 11 行田女
上尾東 23 16 朝霞
浦和南 20 11 筑波大坂戸
埼玉栄 32 12 草加
浦和学院 24 12 北本
川口青陵 36 8 秋草学園

▽2回戦
浦和実 34 5 羽生一
八潮 15 13 三郷北
小松原女 24 9 大宮南
川口北 22 7 八潮南
伊奈学園 19 13 熊谷女
上尾東 17 13 埼玉栄
川口青陵 30 8 浦和学院

▽準決勝リーグA組
浦和実 30 10 八潮
浦和実 21 8 小松原女
浦和実 29 11 川口北
小松原女 19 15 八潮
八潮 14 10 川口北
川口北 16 15 小松原女

▽準決勝リーグB組
伊奈学園 27 18 上尾東
伊奈学園 14 12 浦和南
伊奈学園 19 11 川口青陵
伊奈学園 15 9 浦和南
川口青陵 42 12 上尾東
川口青陵 17 14 上尾東

浦和実 32 11 川口青陵
浦和実 25 12 伊奈学園
浦和実 18 13 小松原女
川口青陵 22 13 小松原女

※浦和実-小松原女、伊奈学園-川口青陵は準決勝リーグを適用。

(順位) ①浦和実 ②伊奈学園 ③川口青陵

伊奈学園 24 11 宮代

ねばりは頑張り 気力は体力



効能・効果
●滋養強壮 ●虚弱体質
●肉体疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害
●発熱性消耗性疾患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給

湧永製薬株式会社

●札幌011(747)2166 ●東京03(293)3351 ●名古屋052(971)5901
●大阪06(458)8901 ●広島082(264)4116 ●福岡092(481)7382

関東高校千葉予選

口青陵④小松原女

(県予選・5月12、13日/東邦大付属東邦高校)

(男子)

●第1ブロック予選

予選リーグA 拓大紅陵

京葉 17 | 11 房総学園

京葉 18 | 12 房総学園

拓大紅陵 29 | 19 房総学園

予選リーグB 市原

木更津 19 | 12 市原

木更津 41 | 7 鶴舞商

市原 41 | 14 鶴舞商

決勝リーグ 市原

京葉 23 | 13 市原

拓大紅陵 18 | 16 市原

拓大紅陵 19 | 12 市原

京葉 19 | 14 木更津

順位決定戦 鶴舞商

房総学園 23 | 5 鶴舞商

(順位)①京葉②拓大紅陵③木更津④市原⑤房総学園⑥鶴舞商

●第2ブロック予選

リーグ戦 秀明八千代

東京学館 26 | 9 秀明八千代

東京学館 44 | 2 四街道

東京学館 19 | 11 佐原

佐原 26 | 7 四街道

佐原 20 | 12 秀明八千代

秀明八千代 28 | 6 四街道

(順位)①東京学館②佐原③秀明八千代④四街道

●第3ブロック予選

リーグ戦

生泉 13 | 9 土葉南

若松 26 | 8 泉

若松 23 | 10 泉

(順位)①若松②泉

●第4ブロック予選

予選リーグA 船橋法典

幕張北 18 | 12 鎌ヶ谷

幕張北 28 | 9 鎌ヶ谷

船橋西 33 | 8 鎌ヶ谷

幕張北 25 | 24 鎌ヶ谷

船橋法典 20 | 4 鎌ヶ谷

船橋西 11 | 9 幕張北

予選リーグB 船橋東

渋谷幕張 12 | 11 船橋東

船橋旭 14 | 10 船橋東

船橋東 15 | 9 船橋旭

代表決定戦 船橋旭

幕張北 16 | 11 船橋旭

船橋西 13 | 11 船橋東

1位決定戦 幕張北

●第5ブロック予選

リーグ戦 我孫子

二松沼南 26 | 9 我孫子

二松沼南 32 | 4 柏

二松沼南 34 | 14 県沼南

我孫子 31 | 8 県沼南

我孫子 52 | 4 県沼南

柏 27 | 9 県沼南

(順位)①二松沼南②我孫子③柏

●第6ブロック予選

リーグ戦 清水

芝浦工大 22 | 5 清水

芝浦工大 15 | 7 柏

芝浦工大 16 | 9 東葛飾

芝浦工大 13 | 11 柏

柏南 19 | 13 東葛飾

柏南 19 | 6 清水

東葛飾 15 | 4 清水

東葛飾 20 | 6 清水

柏陵 16 | 8 清水

(順位)①芝浦工大②柏南③東葛飾

●第7ブロック予選

予選リーグA 市立松戸

松戸秋山 5 | 3 市立松戸

専大松戸 9 | 8 市立松戸

松戸秋山 6 | 6 専大松戸

予選リーグB 松戸六実

小金 12 | 8 松戸六実

松戸六実 10 | 4 国府台

小金 12 | 6 国府台

決勝リーグ 松戸六実

松戸秋山 13 | 10 松戸六実

小金 13 | 10 専大松戸

小金 25 | 4 松戸秋山

(順位)①小金②松戸秋山

●第8ブロック予選

リーグ戦 国分

市川西 35 | 18 国分

市川西 36 | 3 浦安南

国分 32 | 4 浦安南

(順位)①市川西②国分③浦安南

●県大会

1回戦 松戸秋山

学館浦安 42 | 5 松戸秋山

東京学館 25 | 11 船橋西

若松 34 | 17 市川西

八千代 29 | 12 柏南

東邦 39 | 5 拓大紅陵

京葉 18 | 13 幕張北

二松沼南 19 | 16 芝工大

市川 33 | 14 小金

●2回戦 東京学館

学館浦安 30 | 12 東京学館

八千代 22 | 12 若松

東邦 33 | 8 京葉

市川 21 | 9 二松沼南

●準決勝 八千代

学館浦安 16 | 15 八千代

東邦 19 | 15 市川

●3位決定戦 八千代

市川 18 | 11 八千代

東邦 20 (8 | 12) (5 | 5) 10学館浦安

(女子)

●第2ブロック予選

リーグ戦 四街道

佐原 35 | 0 四街道

佐原 32 | 3 四街道

佐原 12 | 8 佐原女

佐原 11 | 5 佐原女

佐原 37 | 2 四街道

佐原 39 | 4 四街道

(順位)①佐原②佐原女③四街道

●第3ブロック予選

リーグ戦 東金女

御宿家政 9 | 3 東金女

若松 17 | 15 生泉

若松 19 | 2 泉

若松 17 | 4 御宿家政

若松 12 | 5 土気

(順位)①若松②土気

●第4ブロック予選

召しませ自然。

シャトレゼのお菓子は山梨産トモ。

日本一の果実郷と極上の酪農地帯です。

澄んだ空気と豊かな自然を、

満載しています。

そして、日本中をおいしい笑顔でまたそうと

シャトレゼのフレッシュバター、

シンドボール部ともども、

21世紀に向けて、

さらに大きく飛躍しようとしています。



Chateraisé



株式会社シャトレゼ

山梨県東八代郡中道町下曾根3440-1 〒400-15
電話(0552)66-5151(大代) FAX(0552)66-5156

浦和実17 (7|10|5) 10江東商

茨城県民総体・国体予選

(6月23、24日/笠間市民体育館)

茨城大 29|16 荃崎ク

千代田ク 23|21 グレート

▼決勝 デイバース

茨城大24 (15|9|6|10) 16千代田ク

▼1回戦

茨城モデル文 48|27 常陽銀行

茨城ク 26|17 土浦三高ク

笠岡ク 42|14 動燃東海

筑波学園ク 45|12 日本原研

▼準決勝

茨城モデル文 35|33 茨城ク

筑波学園ク 35|10 笠間ク

▼決勝

茨城コ28 (12|16|15|10) 25筑波学園

ンドルズ 12|16|15|10 クラブ

東海

東海高校岐阜県予選

(5月20、26、27日/岐阜南高校)

高崎山 26|5 加納

高老女 16|13 富田

▼1回戦 (男子)

大垣工 22|12 大垣北

各務原西 34|14 大垣東

岐阜東 12|10 岐西工

▼2回戦

市岐卓商 32|8 大垣工

岐陽 16|15 加納

各務原西 21|18 岐卓南

可児 28|27 斐卓太

県岐阜商 19|17 岐卓東

中京商 27|12 美濃加茂

▼3回戦

市岐卓商 23|9 岐陽

各務原西 23|19 可児

県岐阜商 24|10 中京商

▼決勝リーグ

市岐卓商 23|10 各務原西

市岐卓商 20|11 県岐阜商

県岐阜商 22|15 各務原西

(順位) ①市岐卓商②県岐阜商③

各務原西

▼1回戦

益田 16|9 岐山

大垣南 18|6 大垣女

斐太 11|7 岐北

▼2回戦

加納 18|17 海津

高山 30|7 大垣南

富田女 27|8 瑞浪

養老女 33|6 斐太

可児 10|9 各務原西

▼3回戦

高崎山 26|5 加納

養老女 27|8 富田

▼決勝リーグ

養老女商 17|15 県岐阜商

養老女商 12|11 高山

高山 14|14 県岐阜商

(順位) ①養老女商②高山③県岐

卓商

三重県高校総体

(6月2、4日/四日市市体育館)

桑名 32|10 四日市中央

▼1回戦 (男子)

上野工 24|21 津西

四日市四郷 25|10 川越

四日市西 20|16 高津

桑名西 21|12 海星

桑名北 18|7 津工

四日市 27|13 津西

尾鷲 21|15 津東

▼2回戦

四日市工 29|14 桑名

四日市四郷 24|10 上野工

桑名工 17|15 四日市西

桑名西 10|9 桑名北

亀山 20|11 尾鷲

▼3回戦

四日市南 18|10 尾鷲

四日市工 35|7 四日市四郷

桑名工 19|11 桑名西

亀山 15|12 四日市南

▼決勝リーグ

四日市工 23|9 亀山

亀山 7|6 桑名工

四日市工 21|12 桑名工

工 (順位) ①四日市工②亀山③桑名

桑名西 9|7 桑名西

▼1回戦

名張 12|11 川越

尾鷲 14|11 桑名

▼2回戦

四日市東 23|4 桑名

四日市南 23|7 四日市

津東 21|8 名張西

津 15|8 松阪女

四日市南 31|9 尾鷲

四日市西 32|4 亀山

▼3回戦

津東 19|7 四日市南

津東 36|3 四日市西

四日市南 22|6 四日市西

▼決勝リーグ

津東 22|3 四日市南

津東 14|11 四日市南

津東 29|7 津東

(順位) ①津東②四日市南

第37回東海高校

(6月23、24日/豊田市体育館)

▼1回戦 (男子)

岡崎城西 27|19 県岐阜商

四日市工 26|8 星陵

市岐卓商 26|9 亀山

桜台 22|14 清水東

▼準決勝

岡崎城西 24|17 四日市工

市岐卓商 20|17 桜台

▼決勝

市岐卓商 10|9 15岡崎城西

新しい時代を作ってゆくのは、
新しいひらめき。
そして、ひらめきを実現してくれる
素材が求められます。
常に新しい技術で新しい夢をかなえる
素材をお届けしてきた日新製鋼。
これからも時代に応える
新しい素材をみつめてゆきます。



明日の素材をみつめる
日新製鋼
東京都千代田区丸の内3-4-1
(新国際ビル) ☎03-216-5511 千100

岩国工	高山商	徳山商	下関西	下松工	▼2回戦	防府商	下関中央工	徳山工	徳山工	野田学園	徳山商	下関西	下松工	▼1回戦	か	彦根商	高島	彦根商	▼準決勝	彦根東	長浜北	▼準決勝
27	47	22	20	29		17	18	18	26	15	24	24	21		(4月15、16日/徳山市体育館ほか)	1715	14	32		23	14	
7	4	15	17	8		15	12	14	24	14	10	6	5			03	6	0		17	10	
徳山工	野田学園	岩陽	華陵	下松		下関二	小野田工	山口	西京	南陽工	防府西	広瀬	下関第一			3高島	彦根東	河瀬		14長浜北	野洲	八幡工

中国

岩国商	徳山商	華陵	▼準決勝	岩国商	徳山商	熊毛北	華陵	▼2回戦	岩国商	岩陽	岩陽	徳山商	熊毛北	高山水	徳山	華陵	▼1回戦	下松工	高水	▼3位決定戦	岩国工	下松工	▼準決勝	岩国工	高水	下松工	▼3回戦	岩国工	下関中央工	徳山
14	20	15		21	27	19	24		37	31	16	37	31	22	24	25		911	19		15	21		12	16	12	46	23	18	棄権
10	14	7		16	11	15	8		2	5	12	9	1	8	2	2		26	15		14	8		9	14	10	5	4	15	
熊毛北	岩商	熊毛北		岩国	岩陽	高水	徳山		徳山工	山口中央	長響	防府西	西京	田部	防府商		8岩国	岩国工	岩国工	高水		下関中央工	徳山商	徳山商	下関西	防府商	宇部工	田部		

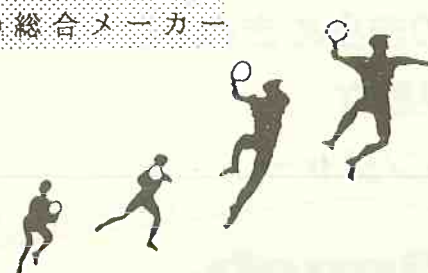
▼1回戦	下松工	▼決勝	岩国	下松工	▼準決勝	岩国	境水	高水	下松工	▼2回戦	岩国	総社	倉敷南	呉山	高水	境水	下松工	▼1回戦	江津市	華陵	▼決勝
811	19	27	28	15	25	25	29	12	23	18	29	17	23	25	25	4			(5月11、13日/島根県浜田市)	119	15
65	13	7	14	12	13	7	14	11	16	11	1	14	14	4						69	徳山商
11岩国	高境水	総社	倉敷南	呉山	境水	松江東	米子東	呉山	江津	濱田水産	東岡山	松江工	呉昭								

末武	平田	下松	▼2回戦	美川	通津	熊毛	▼1回戦	華陵	山陽	▼準決勝	華陵	徳山商	山陽	▼2回戦	華陵	呉山	岩国商	徳山商	米子東	玉野	山陽女
21	15	20		16	14	12		1014	21	16	40	17	23	26	24	17	27	20	18	20	23
1	8	10		13	9	9		72	5	14	7	16	10	10	3	13	7	7	6	14	4
天岐尾	熊陽	須毛		鴻南	須田	桜田		9山陽	徳山商	松江南	岩国商	米子東	玉野		総社	松江南	松江市女	西大寺	松江第一	江津	米子北

山口県中学校春季大会

(5月20、21日/周陽中グラウンド) 東部地区

体操施設の総合メーカー



日本ハンドボール協会検定品製造工場

株式会社 **小川長春館**

〒721 広島県福山市引野町 5 - 46

TEL (0849) 41 - 0230

スパーシュートを見せてほしい。

踏み付け部エッジの傾斜が、スパイラルソールが、そしてαゲルが、果敢な攻撃を可能にする。

ス



品名 スカイハンド® ジャパンα-S 品番 THH 711

メーカー希望小売価格 ¥14,700(消費税抜き)

カラー/ ●ホワイト×◎レッド・マリンブルー ●ホワイト×◎マリンブルー・レッド

サイズ/22.5~29.0cm

αGEL 



アシックスは
オリンピックキャンペーンの
オフィシャルスポンサーです。

asics
ATHLETIC SHOES

株式会社 **アシックス** ●商品についてのお問い合わせは株式会社アシックス消費者相談室までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 TEL (078) 303-2233(専用)・(078) 303-3333(大代表)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 TEL (03) 624-1814(専用)・(03) 624-2221(大代表) ●®は®アシックスの登録商標です。

もっと大きな声で 夢を語りあいたいな

夢を語る時の瞳は、
いつもキラキラ輝いています。
夢を、未来を、カタチに変える、
そんな新時代への冒険心を
大同特殊鋼は大切にしたいと思います。
夢を語りあいたい……あなたと。

"With You"



大同特殊鋼

本社 〒460 名古屋市中区錦1-11-18 (興銀ビル)

TEL (052) 201-5111

支社 東京 / 支店 大阪

'91 広島

アジアハンドボール選手権大会 を成功させよう!!

— 第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピッククアアジア地区予選 —

(日程) 一九九一年八月二十二日(木)～九月一日(日)

(大会会場) 広島サンプラザ・広島市東区スポーツセンター

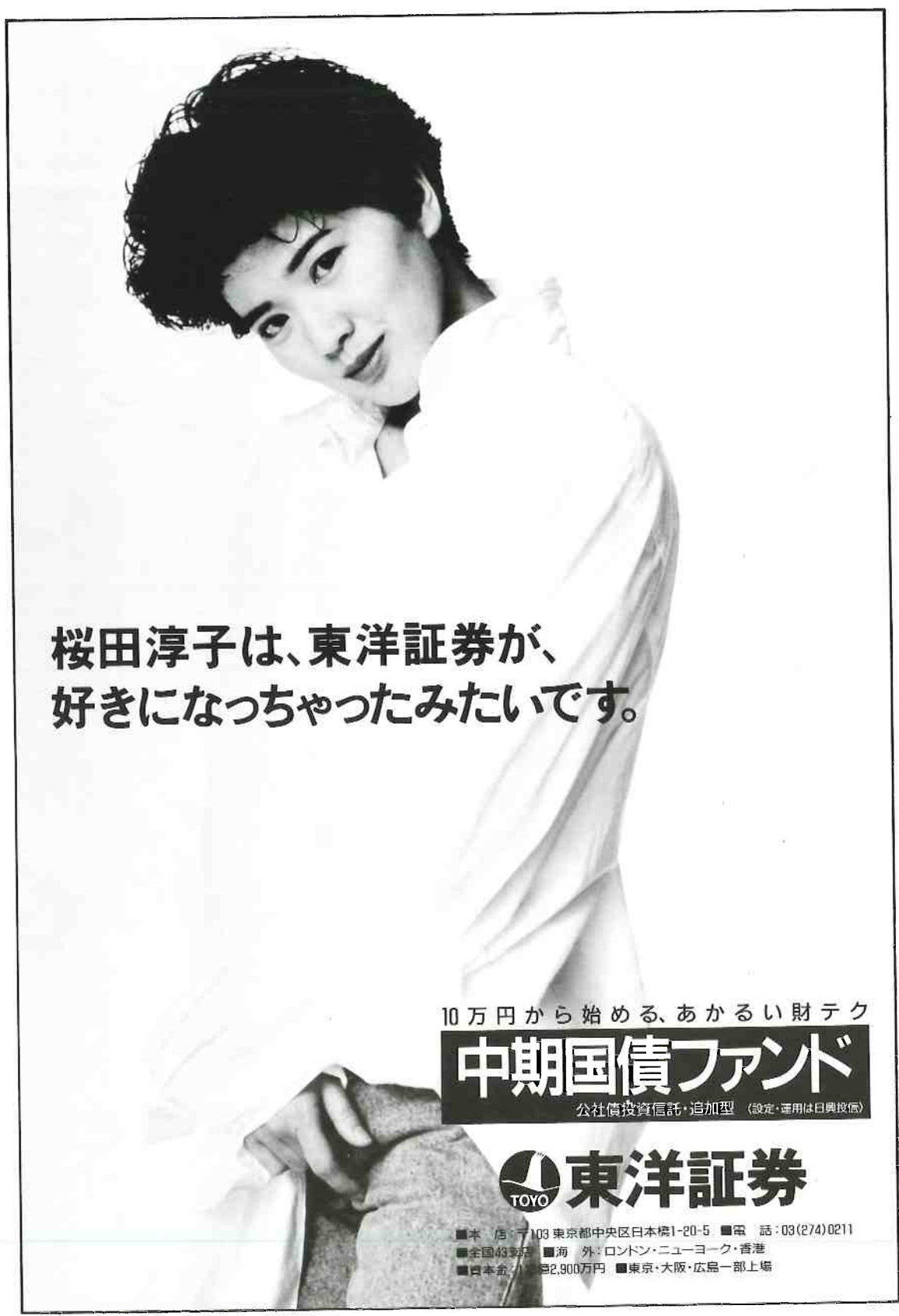
(財)日本ハンドボール協会
広島県ハンドボール協会

昭和四十年六月七日 平成二年六月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成二年七月一日 発行

東京都渋谷区神宮前1-11-1
電話 代表(03)二三六一
振替 東京 六十五三二四八番
編集兼 発行人

安藤純光

定価三百五拾円
(年間購読料)
(三千三百円)



桜田淳子は、東洋証券が、
好きになっちゃったみたいです。

10万円から始める、あかるい財テク

中期国債ファンド

公社債投資信託・追加型 (設定・運用は日興投信)



■本 店：〒103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電 話：03(274)0211
■全国43支店 ■海 外：ロンドン・ニューヨーク・香港
■資本金：総額2,900万円 ■東京・大阪・広島一部上場